

(別紙4-2)

目標達成計画

事業所名 グループホーム ル・ソレイユ函南

作成日: 令和 8年 4月 1日

【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取組内容	目標達成に要する期間
1	3	認知症対応型グループホームでは、会議への参加が本人の混乱や負担につながる可能性がある。 本人の体調や理解のしやすさを考えると、長時間の参加は難しい場合がある。	本人に無理のない形で、気持ちや希望を会議に反映できる方法を整える。	本人が安心して参加できるよう、短時間だけの参加や、馴染みの職員がそばにつくなどの工夫を行う。 参加が難しい場合は、事前に意見や要望を聴き取り、職員が報告する形をとる。 本人が参加することで、意見が尊重されている実感が得られ、信頼関係が深まる。また、社会参加の経験となり、支援者は本人のニーズや強みをより理解できることを期待する。	
2	13	災害時の連絡手段としてグループラインの活用が考えられるが、個人情報の取り扱いに不安を感じる職員もいる。 このため、連絡方法の選択や管理について、慎重な対応が必要である。	災害時にすぐ連絡が取れるようにしつつ、職員が安心して使える連絡体制を整える。	グループラインを使用する場合は、個人情報の扱いに十分注意し、必要最低限の情報のみ共有する。 グループライン以外の方法も含め、複数の連絡手段を検討し、職員が選びやすい体制をつくる。 個人情報の取り扱いについて、職員間で共通理解を持てるように確認を行う。	
3					
4					
5					

注1) 項目番号欄には、自己評価項目の番号を記入してください。

注2) 項目数が足りない場合は、行を追加してください。